《ミニファイル》「衛生と安全」ご執筆にあたって

日本分析化学会「ぶんせき」編集委員会

2019 年末から全世界に拡散した新型コロナウイルスによって、飛沫拡散を防止するためのマスクや手指を消毒するためのアルコール類の需要が高まり、一時的に入手困難になったことは記憶に新しいところです。また、日常的な報道においても衛生用品の性能や、殺菌消毒処理など関する情報が取り扱われることが当たり前のようになってきています。職業あるいは学問として化学に携わるだけでなく、日常生活を送る一社会人としても、衛生維持や健康管理にこれまで以上の注意を払うようになりました。我々の生活習慣がこれまで以上に見直され、日常的な手洗いやうがいの励行や清潔な環境の維持に取組んだ結果、インフルエンザや手足口病などの例年大流行する感染症患者数が、2020 年度には過去に類を見ない激減として報告されています。

このような状況に際して、ぶんせき誌の 2022 年度のミニファイルでは「衛生と安全」を年間テーマとして企画いたしました。日常生活における感染症対策としての衛生管理から、研究活動に直結する化学的あるいは生物学的にクリーンな器具や試薬、安全な実験環境の構築と維持に関わる設備、モニタリングやシミュレーションによる評価などについて、広くご執筆いただきたくお願い申し上げる次第です。広く分析化学の観点から衛生観念の啓蒙や安全意識の向上に繋がる紙面としたいと考えております。

テレビや新聞の報道でも不織布などの素材の違いと飛沫拡散阻止率などが取り上げられる一方で、断片的な解釈と不安を煽る情報による過剰な対応が取りざたされています。日本分析化学会の“ぶんせき”誌から「衛生と安全」に関する情報をデータと科学的根拠に基づいた解説として発信することで、広く一般にも正しい理解を促すことに貢献できるものと確信しております。

今後の予定

2022 年の 1 月号から 12 月号にかけて「ぶんせき」誌に各 1 編ずつ「ミニファイル」として掲載される予定です。前年度の実績に基づいたおおまかな日程は以下の通りです。

2021 年 9 月 〜 脱稿（以下、全て掲載号による）

2021 年 10 月 〜 閲読（編集委員会から分野が近い委員が担当）

2021 年 11 月 〜 編集委員会から著者に修正を依頼（必要に応じて）

2021 年 12 月 〜 著者校正

2022 年 1 月 〜 順次掲載

原稿形式と掲載文例　（「ぶんせき」執筆要領より抜粋）

【ミニファイル】 4000 字以内(刷り上がり 2 ページ以内)

内容: 分析関係者に必要な基本的知識などをまとめ，シリーズとして紹介したもの。まとめてファイルし，小辞典として役に立つような記事とする。

* 前処理に必要な器具や装置の正しい使用法: 概論, 小熊 幸一, ぶんせき, 2020, 1, 15.  
  http://www.jsac.or.jp/bunseki/pdf/bunseki2020/202001p15.pdf
* サンプリング: 残留農薬分析における農作物の試料採取, 飯島 和昭, ぶんせき, 2019, 8, 342.  
  http://www.jsac.or.jp/bunseki/pdf/bunseki2019/201908p342.pdf
* 土壌分析: 土壌腐植物質の定性・定量分析, 渡邉 彰, ぶんせき, 2019, 11, 491.  
  https://www.jsac.jp/wp-content/uploads/bunseki/2018/201811minifile.pdf